

2022 年度 事業者防災訓練 訓練課題対応資料

1. 2022 年度訓練課題の検討結果

2022 年度訓練において確認された課題を下記の 4 つに分類し、それぞれに対する原因分析、対策を表-1 に示す。

- (1) 通報書
- (2) ERC 対応
- (3) 応急措置実施状況
- (4) 書架資料

2. ERC 対応者への情報フロー図に対する自己評価

2021 年度訓練からモニタリングデータを防護活動本部、ERC 対応者、防護隊指揮所が共有するシステムを取り入れ、更に 2022 年度は FAX 通報書、装置概念図、事象発生状況図、プレス文等も共有化し、ERC プラント班への説明に利用することが出来た。

一方、ERC 対応者と ERC プラント班間での Q/A について、質問への回答が一部実施できていない事項があった。このため、問い合わせ事項に対して漏れなく回答するよう、ERC -NDC 間情報の本部内共有の仕組み、体制の見直しを行う。

表-1 2022 年度防災訓練課題と対策

分類	項目	① 問題点／課題、② 原因、③ 対策
(1) 通報書	1) 10 条通報	<p>① 第 2 部訓練において、M/P 指示値が $5\mu\text{Sv/h}$ となったことにより特定事象発生通報書の「敷地境界の放射線量の上昇」にチェックを入れるべきであったが、「排気筒からの放射性物質の放出」にチェックを入れてしまった。</p> <p>② 通報書作成者が EAL を十分理解していなかったこと、誤記が最後まで見逃されたチェック体制の不備の両方が原因である。</p> <p>③ 通報書の記載ミス防止を図るため、通報書マニュアルの見直し、通報書作成者の教育、複数人で同時に通報書記載を確認する等チェック体制の見直しを行う。見直し結果について要素訓練により習熟を図ると共に、今後の訓練で改善状況を確認する。</p>
	2) 25 条報告	<p>① 10 条通報に続いて 15 条通報を行い、その後 25 条報告を行った。今回の訓練では 10 条通報の後、15 条事象該当の前に給排気系統の緊急停止、プール水面でのガス捕集を実施したので、10 条通報に引き続いて 25 条報告（応急措置の概要報告）を実施すべきであった。</p> <p>② 25 条報告は 15 条事象発生後の経過報告との意識が強く、応急措置の報告との認識が不足していたことが原因である。</p> <p>③ 通報書マニュアルに当社で発生する可能性がある原災法事象に合わせた 25 条報告を発出する時期（タイミング）を明記する。見直し結果について周知教育、要素訓練により習熟を図ると共に、今後の訓練で改善状況を確認する。</p>
(2) ERC 対応	1) 情報取扱い	<p>① 第 1 部訓練において、各棟の点検状況で「調査中」との発話があった後、なかなか報告がなかった項目があった。</p> <p>② ERC-NDC 間の情報をフォローする体制が不足していたことが原因である。</p> <p>③ 問い合わせ事項に対して漏れなく回答するよう、ERC-NDC 間情報の本部内共有の仕組み、体制の見直しを行う。併せて ERC との情報連絡マニュアルの見直しを行い、周知教育、要素訓練により習熟を図ると共に、今後の訓練で改善状況を確認する。</p>
	2) 広域災害時対応	<p>① 東海村で震度 6 弱の地震が発生した場合、ERC 側のマンパワーは限られると想像されるが、訓練の実効性確保について検討する必要がある。</p> <p>② 広域災害発生時は伝える情報を限定する等の工夫が必要であることは認識しているが、そのような状況を想定した訓練は実施した経験が無く、今後の課題と考える。</p> <p>③ ERC との情報連絡マニュアル内の情報のリストについて、現状は伝える情報項目のみの記載であるが、情報の優先度を追加し、伝える情報を選択しやすいよう工夫する。</p>

分類	項目	① 問題点／課題、② 原因、③ 対策
(3) 応急措置 実施状況	1) 状況把握	<p>① 事象発生後の応急措置の実施状況(開始時刻、終了時刻、効果)について、訓練初期は本部内で情報の共有が不足していた。訓練中盤以降は本部長指示によりホワイトボードに実施状況を記載し、情報を共有した。</p> <p>② 応急措置の実施状況を把握することは重要であるが、本部内での役割分担が明確になっていなかったことが原因である。</p> <p>③ 応急措置の実施状況をホワイトボードに記録する担当者を決め、実施の推移を共有できるように要員の配置を見直す。</p>
(4) 書架資料	1) 書架資料	<p>① 説明に使用する書架資料のファイルには、インデックスが貼り付けられている(数値記載と名称の記載の2種類)が、迅速・確実に使用したい資料を探し出せるように改善する必要がある。また敷地内建屋配置図に番号がついていないため、ERCへの説明に時間を要した。</p> <p>② 書架資料について、ERC対応者が使いやすく、説明しやすい形式にするとの視点が不足していた。</p> <p>③ 関連する資料を分類してグループ毎にファイリングし、また全ての資料に番号付けを行い、目的とする資料をより取り出し易くするよう改善する。</p>